

登録コード	L1430300	開講年度	2026				
担当教員	前田 豊			副担当			
授業科目	社会学特論						
英文授業名	Sociology: Lecture						
授業タイトル	社会階層論						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限
講義室	共通教育28講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				社会に存在する種々の格差や不平等をメカニズムの観点から価値中立的に捉えることができるようになる		
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】				種々の統計情報を適切に理解できるようになる		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	これまでの社会階層論における研究成果をもとに、「格差」「不平等」を統計的に捉える手法、および理論的な生成メカニズムを説明する。						
授業計画	第1回 イントロダクション 第2回 社会階層の視点 第3回 学歴の格差(1): 学歴の世代間移動 第4回 学歴の格差(2): ペアレントクラシーと進学格差 第5回 職業の格差(1): 「仕事」の捉え方 第6回 職業の格差(2): 職業の世代間移動 第7回 職業の格差(3): 職業の世代内移動 第8回 所得の格差(1): 所得分布の特性と定式化 第9回 所得の格差(2): 所得格差の要因分解 第10回 貧困(1): 貧困をどのように定義するか 第11回 貧困(2): 貧困の要因分解 第12回 貧困(3): 子供の貧困 第13回 格差と主観的効用(1): 傷跡効果 第14回 格差と主観的効用(2): 所得格差が及ぼす影響 第15回 まとめ・授業アンケート 定期試験なし						
成績評価の方法	学期中の小レポート(50%)、および学期末のレポート(50%)から総合的に判断する。						
成績評価の基準	(1)自身の言葉で個別的な「格差」「不平等」を正しく説明できているのか、(2)授業で学んだことを生かして、さらなる応用ができているのか、の2点から成績評価を行う。いずれの点も十分に満たしている場合は『卓越している』と評価し、いずれかの点で優れていると評価できる場合は、その程度に応じて『かなり上にある』『やや上にある』と評価する。総合的に見て一定の水準にある場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	本授業では、社会調査データの統計的な解析結果をしばし参照するため、(もちろん授業中にも説明するが)十全な理解のため、主体的に授業で紹介した手法の復習が望ましい。						
履修上の注意	特になし						
質問、相談への対応	オフィスアワー、およびメール(ymaeda076[at]shinshu-u.ac.jp)で質問、相談を受け付ける。オフィスアワーの日時は初回授業時に伝える。						
教科書	特に指定しない						
参考書	平沢和志・2021.『格差の社会学入門 第2版』北海道大学出版会。 中村高康ら編・2021.『少子高齢社会の階層構造1 人生初期の階層構造』東京大学出版会。 渡邊勉ら編・2021.『少子高齢社会の階層構造2 人生中期の階層構造』東京大学出版会。 有田伸ら編・2021.『少子高齢社会の階層構造3 人生後期の階層構造』東京大学出版会。 小塩隆士・2014.『「幸せ」の決まり方——主観的厚生を経済学——』日本経済新聞出版社。 他、適宜授業中に紹介する。						